

都市再生整備計画

た き お ち ゆ う ぶ
滝尾中部地区(第二期)
だ い に き

お お い た お お い た
大分県 大分市

平成24年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	大分県	市町村名	大分市	地区名	滝尾中部地区	面積	140 ha
計画期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度	交付期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度				

目標

大目標：防災、防犯のまちづくりによる、安全、安心で快適な住環境の形成

- 目標1 災害、犯罪に強い市街地の形成（防災、防犯性の向上）
- 目標2 円滑な交通体系の形成と交通安全性、歩行者の快適性の向上（交通体系の整備）
- 目標3 良好な住環境の整備・誘導（住環境の向上）

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・本地区は中心市街地の外縁部にあり、中心市街地や大分自動車道へのアクセス機能が高い住宅地である。
- ・通過交通の多さに比べ、地区内道路は幅員が狭く歩道が未整備の箇所が多くみられる。
- ・地区整備の必要性が高いことから、土地区画整理事業の実施に向けて進められていた。
- ・しかしながら、平成15年度の「大分市中期財政見直し」により、財政再建の取り組みの中で公共事業の大幅な見直しが行なわれた。
- ・土地区画整理事業に代わり、経済的で効果的な整備を行うために、平成16年より地元と整備内容や整備手法について検討し、平成19年度より「まちづくり交付金」の導入により整備を行ってきた。
- ・5カ年の「まちづくり交付金の導入」により、地域の安全・安心・快適性は向上しつつある。
- ・しかしながら、3期計画の第1期が完了した段階であるため、今後も継続して地域の安心・安全のためのまちづくりを進めていく必要がある。

課題

- ・地区内には、県内有数の児童・生徒数を誇る大規模小・中学校（滝尾小学校・滝尾中学校）が立地し、高齢者も多数居住している。
- ・平成19年度から「まちづくり交付金」を導入し、「防災、防犯のまちづくりによる、安全、安心で快適な住環境の形成」に向けて取り組んでおり、歩道整備や防犯灯設置などにより一定の成果があった。しかしながら、以下のような残された課題がある。

- 地区内の主要な歩行者動線となる道路において、歩道の未整備区間があるため、一部では歩行者の安全性が低く、引き続き歩行者空間の整備が必要
- 災害時には住民全員の迅速で的確な行動が必要であり、そのためには今後も地域住民の防災・防犯に対する意識の向上と、避難訓練等の継続的な取り組みが必要
- 地区の骨格となる都市計画道路片島松岡線は未整備状況であり、幹線道路がネットワーク化されていないことから、円滑な道路交通体系の形成のため早期整備が必要
- 地区内には、まだまだ緊急車両の進入が困難な狭隘道路、延焼の危険性が高い木造密集地がみられることから、今後も防災面の強化が必要
- 地区内には将来宅地化が進むと考えられる農地がみられ、今後もスプロール化する可能性があるため、計画的な公共施設の整備や「地区計画」等の検討が必要
- 近年、地区内では浸水被害は発生していないが、流末の排水不良については解消されておらず、水害対策が必要

将来ビジョン（中長期）

- 「大分市都市計画マスタープラン（H23.3策定）」
- ・滝尾地区を「安全・安心な市街地改善を図るため、住環境整備事業を推進する」として位置づけており、地区全体（140ha）で「既成市街地の改善による、安全で安心な都市基盤と快適な住環境の形成」を目的とした市街地整備を行う。
- ・都市計画道路や排水施設など都市の骨格となる都市基盤の整備と地域の防災・防犯活動を促進することにより、防災性、防犯性に優れた住環境の形成を図るとともに、生活道路や公園など既存施設の改善や周辺自然環境を積極的にまちづくりに活用して快適性にも優れた住環境の形成を図り、人々が、「安全で安心して、住みたいと感じ、住むことを誇りと思うまちづくり」を行う。
- ・都市計画道路の事業スケジュールに合わせて、住民の意向を反映しながら、地区中心部にある滝尾校区公民館を拠点に、南北方向の幹線道路を主とした地区中心部分の骨格的都市機能の整備を行う。
- ・今後も、都市計画道路の整備スケジュールに合わせて、保育園・小学校・中学校が集中する地区西部の生活道路の整備や、豪雨時の浸水箇所が点在する地区東部の抜本的な雨水対策、都市計画道路とそれに連絡する地区内の生活道路の整備などを継続して行うことにより、滝尾中部地区全体で住環境整備を図り、まちづくりの目標の達成を目指す予定である。

目標を定量化する指標

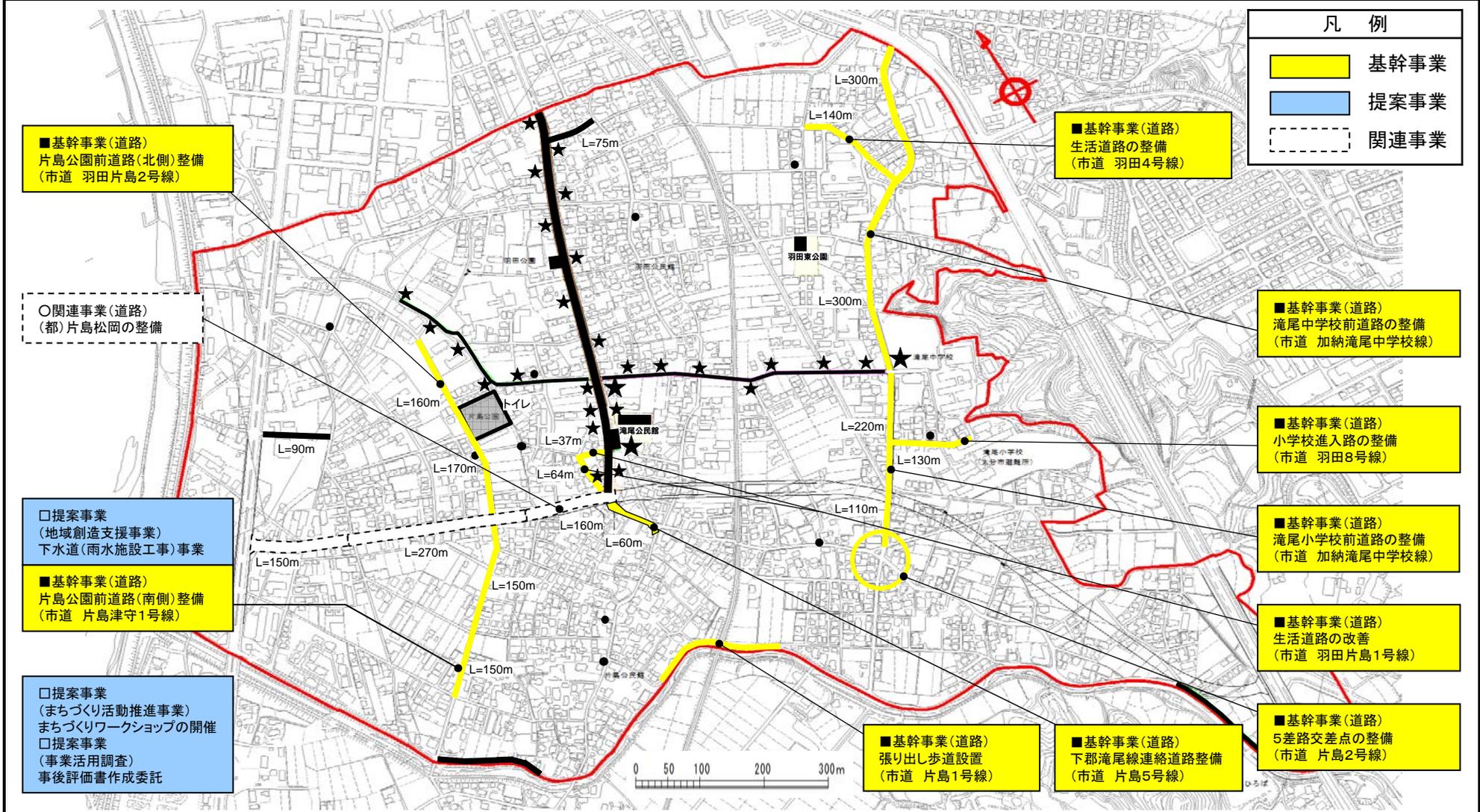
指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
地域防災力・防犯力向上についての満足度	%	アンケート調査による避難所・避難通路についての満足度と歩行者空間についての満足度の総合満足度	地域防災力・防犯力の向上を図ることにより、「避難所・避難通路について」と「歩行者空間について」の総合の満足度が56%となる環境を目指す	52	平成23年度	56	平成28年度
自動車交通についての満足度	%	アンケート項目「自動車交通の利便性及び安全性」について、事業効果が期待できる片島、羽田東地区住民の満足度	円滑な道路交通体系形成のため、都市計画道路の整備等により、片島、羽田東地区の自動車交通についての満足度が55%となる環境を目指す	43	平成23年度	55	平成28年度
(都)片島松岡線の通過交通時間	秒	(都)片島松岡線の辻堂交差点から下郡バイパス交差点まで自動車が通過するのに要する時間	円滑な道路交通体系形成のため、(都)片島松岡線整備により、辻堂交差点から下郡バイパス交差点までの通過時間が平均30km/hとなる環境を目指す	120	平成23年度	70	平成28年度
地区内排水に対する満足度	%	アンケート項目「水路（排水施設）」について、事業効果が期待できる片島地区住民の満足度	地区の浸水対策のため、道路整備にあわせた水路整備等の実施により、片島地区の排水についての満足度が60%となる環境を目指す	42	平成23年度	60	平成28年度
防災防犯活動への参加者人数	人	目標年度における防災防犯活動への住民参加者数	地域防災力・防犯力の強化を図るため、地域の防災、防犯活動やイベントへの参加者数が2,700人以上となることを目指す	1,303	平成23年度	2,000	平成28年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>目標1：災害、犯罪に強い市街地の形成（防災、防犯性の向上）</p> <p>○災害や犯罪に対して強い市街地を形成するため、緊急車両等も円滑にアクセスできる道路網の整備を行う。 ○浸水被害への対策として、幹線排水路の整備や道路整備に伴う道路排水施設の改善、ポンプ場の整備促進など、排水機能の向上を図る。 ○新たな避難路の指定、避難訓練や防災マップ等による住民への周知により防災面の強化を図る。 ○地域の防災・防犯に関する組織の活動内容の充実(特化した災害に対する避難訓練等)や活発化により、より多くの住民が防災・防犯活動に参加する環境を形成する。 ○防災・防犯に関する地域リーダーの育成や地域コミュニティの醸成により、地域防災力・防犯力の向上を図る。 上記取り組みにより、防災・防犯に対する住民意識の向上と行動力をつけ、ハードとソフトの両面から総合的な地域防災力・防犯力の向上を図る。</p>	<p>■市道 羽田4号線(生活道路の整備)【道路/基幹事業】 ■市道 羽田片島2号線(片島公園前道路(北側)の整備)【道路/基幹事業】 ■市道 羽田片島1号線(生活道路の整備)【道路/基幹事業】 ■市道 片島津守1号線(片島公園前道路下水(南側)の整備)【道路/基幹事業】</p> <p>□まちづくりワークショップの開催(地域防災防犯活動支援)【まちづくり活動推進事業/提案事業】</p>
<p>目標2：円滑な交通体系の形成と交通安全性、歩行者の快適性の向上（交通体系の整備）</p> <p>○円滑な道路交通体系を形成するため、東西方向の骨格道路となる都市計画道路片島松岡線の整備(関連事業)を促進する。 ○滝尾小中学校生徒の通学時の安全性を高めるため、通学路となる道路について歩道のカラー舗装による歩車分離の実施など、安全で連続性のある歩行者空間の整備を図る。</p>	<p>■市道 羽田8号線(小学校進入路の整備)【道路/基幹事業】 ■市道 片島5号線(下郡滝尾線連絡道路の整備)【道路/基幹事業】 ■市道 加納滝尾中学校線(滝尾小学校前道路の整備)【道路/基幹事業】 ■市道 加納滝尾中学校線(滝尾中学校前道路の整備)【道路/基幹事業】 ■市道 片島2号線(5差路交差点の整備)【道路/基幹事業】 ■市道 片島1号線(張り出し歩道設置整備)【道路/基幹事業】</p> <p>□まちづくりワークショップの開催(地域防災防犯活動支援)【まちづくり活動推進事業/提案事業】</p> <p>○(都)片島松岡線の整備【道路/関連事業】</p>
<p>目標3：良好な住環境の整備・誘導（住環境の向上）</p> <p>○児童から高齢者まで利用者の利便性や快適性の向上を図るため、公共施設整備においてはユニバーサルデザイン・景観形成にも配慮した整備を進める。 ○遊休農地など今後の開発可能性のある地域の良好な住環境形成を誘導するため、地域住民による勉強会を実施しながら地域独自のルールづくり(地区計画等)を検討する。</p>	<p>■市道 片島津守1号線(片島公園前道路の整備)【道路/基幹事業】</p> <p>□下水道(雨水施設工事)事業【地域創造支援事業/提案事業】 □まちづくりワークショップの開催(地域防災防犯活動支援)【まちづくり活動推進事業/提案事業】</p> <p>○(都)片島松岡線の整備【道路/関連事業】</p>
<p>その他</p> <p>○「地域防災防犯活動支援」について 「防災、防犯」をテーマに、住民主体によるイベントや地域学習会(ワークショップ)を継続開催し、地域防災力、防犯力の強化を図るとともに、本地区の整備課題の把握とまちづくりについての認識を高める。</p> <p>○「地域のルールづくり(地区計画)の検討」について 都市計画道路の整備に合わせた良好な沿道景観形成を図るため、壁面後退や建築物の形態規制など、地域のルールづくりを住民との勉強会を開催しながら検討する。 遊休農地など今後の開発可能性のある地域の良好な住環境形成を誘導するため、地域住民による勉強会を実施しながら地域独自のルールづくり(地区計画等)を検討する。</p> <p>○交付期間中の計画の管理について 交付期間中において各種の事業を円滑に進め、目標に向けて確実な効果をあげるため、市と住民が協働して、事業成果についての評価や事業の整備内容、進め方などについてワークショップ等を実施する。また、その結果については、まちづくりニュースを発行し随時、住民に情報公開する。</p>	

滝尾中部地区(大分県大分市) 整備方針概要図

目標 防災、防犯のまちづくりによる、安全、安心で快適な住環境の形成	代表的な指標	地域防災力・防犯力向上の満足度 (%)	52	(23年度)	→	56	(28年度)
		(都)片島松岡線の通過交通時間 (秒)	120	(23年度)	→	70	(28年度)
		地区内排水に対する満足度 (%)	42	(23年度)	→	60	(28年度)



社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称: 滝尾中部地区 都市再生整備計画

事業主体名: 大分市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1)まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2)上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2)まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5)地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1)まちづくりに向けた機運がある。	○
2)住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3)継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
3)計画について住民等との間で合意が形成されている。	○